

四日市市職員募集 先輩職員の声

R7





■四日市市役所を受験したきっかけ

私は、四日市市で初めて就職氷河期世代を対象とした職員採用が始まった令和3年度に入庁しました。

コロナ禍で、これまで当たり前だったことが大きく変わっていく中で、地域社会のつながりや行政の役割の重要性を改めて実感し、自分も地域の一員として貢献したいと思うようになったことがきっかけです。

前職との違いに戸惑い、苦勞する場面もありましたが、周囲の支えもあり、さまざまな経験を積むことができ、とても充実しています。

■三重県で一番多く外国人が暮らす四日市市

知っていますか？四日市市は三重県内で最も外国人市民が多い市で、総人口のおよそ23人に1人が外国人市民です。

私が所属する多文化共生推進室では、日本人市民と外国人市民が、地域の仲間として共に暮らしていけるよう、交流事業や啓発事業、外国人市民に対する日本語学習支援等を行っています。

業務を通じて、さまざまな人と出会い、多様な文化や価値観に触れ、新たな視点を得る貴重な経験をさせていただいています。



市民生活部 市民生活課
多文化共生推進室
山田さん

〈経歴〉
令和3年入庁 同室に配属

◆安心して子育てができる四日市市を目指して

四日市市では全国的な傾向と同様に、共働き世帯や核家族が増加傾向にあり、どのような世帯でも安心して子育てと仕事を両立できる環境づくりが必要となっています。私が配属されたこども未来課ではファミリーサポートセンターや病児保育室などの様々な子育て支援や、子育て支援センターにおいて、相談業務をきめ細かく行っています。

私は学童保育所の運営がスムーズにいくようにサポートすることで負担軽減を図ったり、人材確保・研修体制の充実させることで、保育の質の向上に取り組んでいます。実際に学童保育所に赴いた際には、児童も保護者の方々も生き生きと過ごせる環境づくりがどれほど重要かということを知ることができました。市民の方々が安心して子育てできる四日市市を目指して、子育て環境の向上のために、今後も精一杯取り組みたいと思います。

◆四日市市職員を目指したきっかけ

私は、県外出身者ですが、産業が栄えている一方で、自然豊かな環境もある四日市市にとっても魅力を感じ、この市で自分自身もより良いまちづくりに携わって「市民の生活に貢献したい」と思ったことがキッカケで市職員を目指しました。

実際に、その環境に身を置いて、市民の方々と直接顔を突き合わせて話を聞き、改善策を考えて提案したり、サポートしたりすることは、自分が想像していたよりも大変でした。その反面、市民の方の思いに応えられたときには、やりがいや達成感を感じることができました。

より良いまちづくりと一緒にできることを楽しみにしております。



こども未来部 こども未来課
石丸さん

<経歴>
令和4年入庁 同課に配属

■生活に困っている人のための最後のセーフティネット

私は入庁後、市民協働安全課へ配属されました。その後、保護課へ異動となり、現在、生活保護に関する業務に携わっています。生活保護は、生活に困窮する方に対し、健康で文化的な最低限度の生活を保障し、自分の力で生活できるように手助けする制度です。

生活保護に関する業務はさまざまであり、例えば、生活保護費の支給に関する業務や、医療券の発行、関係機関との連携、その他保護に関する事務手続きなど、多岐にわたっています。

これまで私は、生活保護の医療扶助にかかる業務を担当し、医療扶助の適正化に向けた事業に関する業務等を行ってきました。業務を通じて制度に関する知識を継続的に積み重ねることで、自信を持って業務に取り組むことができています。

これからも生活に困っている人のための最後のセーフティネットとして、さまざまな業務に携わっていきたいと思います。



■多様な業務を経験できる魅力・子育てと仕事の両立がしやすい職場環境

市役所の仕事は多岐にわたるため、さまざまな分野の仕事を経験することができるとともに、新たなスキルや知識を習得できるチャンスがあります。異動によって、また一から仕事を覚える大変さもありますが、多様な業務を経験できることも市役所で働く魅力の一つだと思います。

現在の職場では比較的年齢の近い方たちが多いため、コミュニケーションもとりにやすく、安心して仕事に取り組むことができています。また、男性でも育児休業を取得しやすい環境があります。私は2回、育児休業を取得したことで、積極的に子育てをすることができ、子どもの成長を実感できる貴重な時間となりました。

多様な業務を経験できる、そして働きやすい職場環境がある本市で、皆さんも一緒に働いてみませんか。

健康福祉部 保護課
室田さん

<経歴>
平成28年 市民文化部市民協働安全課
令和3年 現所属に配属

～保健師編～

■行政保健師（母子保健）としての魅力

大学の講義や実習で学んできたつもりでしたが、実際に保健師として働いてみると、わからないことばかりで最初は戸惑いました。先輩方の実践している様子を見たり、アドバイスをいただいたりし、日々業務に励んでいます。育児の悩みや家庭環境もそれぞれ異なるため対応に戸惑うことも多々ありますが、まずはお母さんの気持ちを受け止めることが大切だと教えてもらいました。気持ちを受け止めることで信頼関係を築くことができ、お母さんが本当に困っていることを知ることができ、支援していくことができるようになりました。訪問先や電話でお母さんから「ありがとう」と感謝の言葉をいただけたときに、保健師として働いてよかったと感じます。

■働きやすい職場環境

やりがいのある仕事ですが、お母さんからの育児の悩みに対してどのようにアドバイスしていいのかかわからないこともたくさんあります。しかし、困ったらすぐに相談できる先輩保健師がたくさんおり、優しく助言してくださるのとても働きやすいです。相談しやすい環境のため、保健師としての知識が増え、自分自身の成長にもつながっていると思います。先輩方から教えてもらったことを活かし、こどもとお母さんの心と身体の健康を守っていきたいです。



こども未来部 こども家庭センター
鈴木さん

<経歴>
令和3年入庁 同課に配属



～保育教育職編～

■やりがいのある素敵な仕事

子どもたちと過ごす日々は、毎日新しい発見と感動の連続です。楽しいこと、嬉しいこと、時には悲しいことなど様々な気持ちを共に経験し、心を通わせながら、子どもたちの成長を近くで見守ることができることは保育教諭の魅力の一つだと感じています。できなかったことが少しずつできるようになったときや、新しいことに挑戦してみようとする姿に何度も心を動かされます。また、「せんせーい！」とキラキラの笑顔で駆け寄ってきてくれる姿にたくさんのパワーをもらっています。

子どもたちの未来に少しでも力になれること、保護者の方々と一緒に成長を見守り、時には悩むこともあります。何よりも子どものことで喜びを分かち合えることが、日々の原動力となりやりがいとなっています。

■あたたかい職場環境

子どもたちと関わる中で、うまくいかなかったり、戸惑ったり悩むこともたくさんあります。そんな時は、周りの先生に相談したり話を聞いてもらいながら一緒に考えています。自分にはない考え方や関わり方を知ることができ、学びの毎日です。

職員みんなで子どもたちのことを一緒に考え、支え合える環境だからこそ、前向きに頑張ることができています。今後も、子どもたちが安心して楽しい毎日を過ごせるよう、自分自身も学び続けあたたかい環境を大切にしていきたいです。

こども未来部 保々こども園
寺本さん

〈経歴〉

令和3年 こども未来部 大矢知保育園
令和5年 こども未来部 海蔵幼稚園
令和6年 現所属に配属

■保育教育職になったきっかけ

私が保育教諭を目指したきっかけは、中学生時代の職場体験でした。遊びを通して子どもたちに様々な力を育む中で、自分自身も一緒に成長できる職業だと感じました。そして、生まれ育った四日市市に保育者という立場で貢献していきたいという思いで、四日市市役所を受験しました。

■働くうえで心掛けていること

保育教諭3年目になりますが、子どもへの関わりで悩むことはたくさんあります。先輩方の保育を見て学んだり、アドバイスをいただいたりし、自分の保育を振り返ることを大切にしています。一人で抱えこまず、保護者の方、地域の方、職場の先生方みんなで連携し、子どもたちの成長を支えることを心がけています。

毎年新しい子どもとの出会いがあり、子どもたちの成長に携わることができる、やりがいのある職業です。



こども未来部 大矢知幼稚園
山本さん

〈経歴〉

令和5年入庁 同園に配属

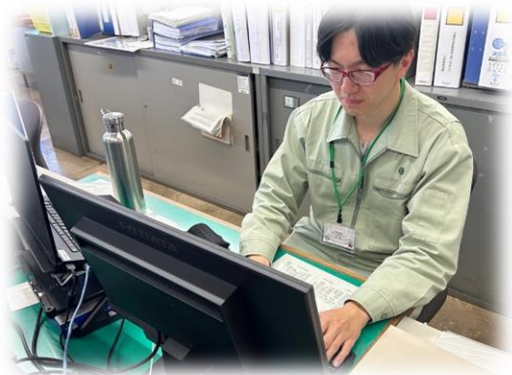
～土木職編～

■上下水道局での土木職の仕事

安定した水の供給や安全な排水処理は市民の生活を支える重要な役割を果たしています。

私は土木技師として水道管の更新や下水道管の新設など、工事発注を通じて地域のライフラインの強化を行っています。市民の生活を支える基盤づくりに直接関わることができ、やりがいを感じます。

工事によっては長い期間がかかるものもありますが、設計が形になり、施設が稼働した際には大きな達成感が得られます。



■能登半島地震被災市への中長期派遣

私は、令和6年度に能登半島地震被災市の富山県高岡市に復興のための応援職員として1年間在籍していました。

高岡市での所属の下水道工務課では、高岡市の職員の方と共に地震により被災した下水道施設の復旧工事を行っていました。

下水道施設が被災していたため、市民の方から要望を受けることも多かったですが、復旧工事施工中には市民の方から感謝されることも多くやりがいを感じました。



上下水道局技術部 下水建設課
中林さん

<経歴>

平成29年 上下水道局技術部水道建設課
令和 4年 上下水道局技術部下水建設課
令和 6年 富山県高岡市派遣（下水道工務課）
令和 7年 現所属に配属

■仕事内容

私が所属している河川排水課では、河川の維持修繕や許認可の手続き等を行っています。

調整池と呼ばれる大雨が降った際に一時的に水を貯めて、下流の洪水流量を軽減する施設の管理を担当しており、草刈業務や点検業務、フェンス修繕工事等の発注を行っています。

土木技師として発注したものが形になり、市民の方に安全に利用してもらうことにとてもやりがいを感じます。



■四日市市役所の魅力

四日市市を選んだ理由は、近隣の地方公共団体と比べて給料が高く夏季休暇の日数が多い等の福利厚生が充実しているからです。また同じ場所ですべて働き続けられることはプライベートを充実させられることに繋がりますので、転勤がないことは市役所の魅力だと感じます。



都市整備部 河川排水課
加藤さん

<経歴>

令和6年入庁 同課に配属

■“ニワミチよっかいち”

ー山を望み港へ結ぶ歩きたくなる中央通りー

現在、本市の玄関口となる近鉄四日市駅、JR四日市駅、そして中央通りを対象エリアとし、図書館や大学などの都市機能の集積や回遊性の向上、駅前にデッキを整備するなど交通結節点の強化など、戦後最大規模となる中心市街地再開発プロジェクトが進められています。

このうち、私が所属している市街地整備課では、駅前のデッキ整備や中央通りの再編を進めており、「ニワミチ」をコンセプトに、これまで広くとられていた車道空間を狭め、その代わりに、ゆとりある歩行者空間の創出を進めています。

この「ニワミチ」という言葉は、人々が、自由に立ち寄り、気兼ねなく時を過ごせる「ニワ」の役割と、人々が自由に行き交い、出会いと交流が生まれる「ミチ」の役割を担っていきたいという意味を含めています。

忙しいですが、大きくまちが変わる現場に立ち会える、大変やりがいのある職場です。



都市整備部 市街地整備課
片山さん

■生まれ育ったまちに携わる

私は、以前に市外の民間の会社で勤めていましたが、生まれ育った四日市市に関わる仕事がしたくて転職しました。

四日市市のこと好きな皆さんと一緒に、このまちをよくしていきましょう。この職員募集案内をご覧ください一緒に働ける日をお待ちしています。

<経歴>

平成21年 都市整備部道路整備課
平成28年 都市整備部都市計画課
令和2年 政策推進部政策推進課
令和6年 現所属に配属

～建築職編～

■働きやすい職場環境

私は工業高校を卒業し、そこで学んだ建築の知識を活かしたいと思い、建築技師として四日市市役所に志望しました。

入庁してからは目上の方ばかりだったので緊張しましたが、同じ高校の卒業生の先輩が多く、わからないことについても聞きやすく丁寧に仕事内容を教えていただきながら働いています。自分が担当する業務スケジュールを管理し、空いた日を休暇に充てることができるので、仕事と私生活の両方が充実しています。

■建築職の役割

私が所属している営繕工務課は、市が所有している建築物の新築工事や老朽化した建築物の改修工事の設計や施工監理を行っている部署になります。

大勢の方が利用される公共施設を、安全で快適な建築物になるよう設計・施工監理することは責任がありますが、形として残るのでとてもやりがいがあります。また、その施設を市民の皆さんにご利用いただける点に喜びを感じます。

都市整備部 営繕工務課
神田さん

<経歴>
令和6年入庁 同課に配属



～電気職編～

■電気技師としてのまちづくり

私は入庁後、営繕工務課で電気技師として、建築物の新築工事や老朽化した建築物の改修工事の設計や施工監理を行っておりました。

現在では、資産マネジメント課で市庁舎等の庁舎管理業務を行っており、工事等で導入した設備や建物の管理などを行うことで、施設を利用される方に安全に快適に過ごしていただけるよう日々努めております。



■電気技師としての生まれ育ったまちに

建物は建築技師と力を合わせて作りますが、電気設備によって建物に明かりが灯され、空気が流れ、建物が活気づきます。自分の仕事によって、建物を利用する市民の方の日々の快適さが変わる。

生まれ育ったこの四日市市に携わる仕事がしたいと思い、転職してきましたが、四日市市の電気技師の仕事は市民の方の活気や笑顔に直接つながる、そんなやりがいのある仕事だと思っています。

財政経営部 資産マネジメント課

毛利さん

<経歴>

平成30年 都市整備部営繕工務課

令和5年 財政経営部管財課

令和7年 財政経営部資産マネジメント課

～機械職編～

■市役所の機械技師の仕事

私は入庁後、台風や大雨などによる浸水を防ぐ施設であるポンプ場や、汚水を処理し河川や海に放流する施設である浄化センターなどの設計・現場監督・維持管理の業務を担当してきました。

自らが設計に携わった施設について、自らが工事の監督を行い、施設完成後の維持管理にまで携わることもあります。長い時間と苦労を重ねて設備が完成した時には達成感を感じますし、設備の設計から維持管理まで主体的に携わることで、様々な視点から設備に携わることができ、自らの知識を深めることができる仕事です。

■自分の作った施設とともに市民の生活を守る

私たちが関わっている施設は、ライフラインと呼ばれる市民の生活に欠かせないものです。

台風や大雨などによる災害が想定される時には、市民の安全・安心を確保するため、自らが手掛けた施設とともに徹夜で作業をすることもあります。

苦勞することもあります。設計段階から日常の維持管理まで携わっている施設が、市民の生活を守っていることを実感でき、様々な視点から設備に携わることができるため、とてもやりがいを感じる仕事です。



上下水道局技術部 施設課
細野さん

<経歴>

平成29年 同課に配属





地域
貢献

安定

通勤
便利

転勤
なし



問い合わせ先 人事課 ☎059-354-8120